



昭和電工株式会社

CSRサイトレポート2019



龍野事業所

- 事業所長ご挨拶
- 製品の主な用途
- 環境関連の取り組み
 - 1) 使用電力の見える化
 - 2) 省エネルギー活動
 - 3) 産業廃棄物削減
 - 4) 環境に優しい製品づくり
 - 5) 環境管理
- 保安防災・安全衛生活動
 - 1) 保安防災訓練
 - 2) 危険体感教育
 - 3) 労働衛生、健康管理活動
 - 4) 表彰
 - 5) 認定
- 地域社会とのコミュニケーション
 - 1) 事業所内行事
 - 2) チャリティ・ボランティア活動
 - 3) その他

われわれの製品は皆さんの生活に貢献しています!

こんなところに龍野ブランド

機能性化学品事業部は、機能性高分子部と、特殊化学品部からなり、汎用製品からオンリーワン製品まで5000種類近くの製品を製造・販売しています。

我々が注力する7つの事業領域(情報電子、産業機器、移動・輸送、ライフサイエンス&ヘルスケア、ライフスタイル(生活環境)、建設・インフラ、エネルギー)に関連する製品は皆さんの身近なところで使われています。

キッチン

- ・カウンター(不飽和ポリエステル樹脂)
- ・チャック付き袋(高密封チャックテープ)

化粧品原料

- ・ビタミンC誘導體
- ・ビタミンE誘導體

パップ剤

- ・基材原料(ポリアクリル酸ソーダ)

住宅街

- ・内装・外装塗料用樹脂(合成樹脂エマルジョン)
- ・ペランダ防水(合成樹脂エマルジョン)
- ・補修剤(カレンズMT[®])

研究施設

- ・高速液体クロマトグラフィー(Shodex[®])

タンク

- ・不飽和ポリエステル樹脂
- ・ビニルエステル樹脂

風力発電

- ・ブレード(ビニルエステル樹脂、エポキシ硬化剤)

火力発電

- ・煙突向け耐食材(不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂)

上下水道

- ・耐食コーティング(不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂)
- ・浄化槽(不飽和ポリエステル樹脂)

病院

- ・ソフトコンタクトレンズ材料(カレンズMOI[®])
- ・歯科材料(カレンズMOI[®])

マンホール

- ・レジンコンクリート(不飽和ポリエステル樹脂)

洋服

- ・繊維加工用樹脂(合成樹脂エマルジョン)

ビルの屋上

- ・遮熱塗料(不飽和ポリエステル樹脂)
- ・屋上防水塗料(不飽和ポリエステル樹脂、合成樹脂エマルジョン)

半導体工場

- ・レジスト(カレンズAOI[®])
- ・ダイシングテープ(合成樹脂エマルジョン、カレンズMOI[®])
- ・ソルダーレジスト用インク(ビニルエステル樹脂)

新幹線

- ・テーブル、窓枠の柵(不飽和ポリエステル樹脂)

美容院

- ・パーマ剤

道路

- ・遮熱塗料(合成樹脂エマルジョン、不飽和ポリエステル樹脂)

菓子袋

- ・高密封チャックテープ

デジタルカメラ

- ・リチウムイオン電池用バインダー(エマルジョン樹脂)
- ・ソルダーレジスト用インク(ビニルエステル樹脂)
- ・接着剤(カレンズMT[®])

農業

- ・農薬コート剤(合成樹脂エマルジョン)

オートバイ

- ・ヘルメット(ビニルエステル樹脂)

車

- ・ランプリフレクター(不飽和ポリエステル樹脂)
- ・モーター用封止材(不飽和ポリエステル樹脂)
- ・ダッシュボードフロッキー用樹脂(合成樹脂エマルジョン)
- ・補修用シャーシー(合成樹脂エマルジョン)

液晶ディスプレイ

- ・カラーフィルター(アクリル系樹脂)
- ・ディスプレイ向け接着剤(合成樹脂エマルジョン)
- ・ソルダーレジスト用インク(ビニルエステル樹脂)

スマートフォン・パソコン

- ・リチウムイオン電池用バインダー(合成樹脂エマルジョン)
- ・塗料(カレンズ[®])

橋

- ・橋げた(ビニルエステル樹脂)

漁船・プレジャーボート

- ・船体(不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂)

接着剤

- ・合成樹脂エマルジョン

運送

- ・ラベル用粘着剤(合成樹脂エマルジョン)



光ケーブル

- ・テンションメンバー(ビニルエステル樹脂)

インクジェット用はがき

- ・表面コーティング(合成樹脂エマルジョン)

機能性化学品事業部の組織

熱硬化性樹脂、合成樹脂エマルジョンを扱う機能性高分子部と、高機能モノマー、化粧品原料、高速液体クロマトグラフィー用カラムなどを扱う特殊化学品部で構成されています。

主な製造拠点は、龍野事業所、伊勢崎事業所、東長原事業所、川崎事業所、グループ会社にはハイパックス株式会社、日本ポリテック株式会社、上海昭和高分子、昭和電工新材料(珠海)などがあります。

機能性化学品事業部

管理グループ

機能性高分子部

特殊化学品部

製造拠点

龍野事業所

伊勢崎事業所

東長原事業所

川崎事業所

事業所長ご挨拶

2019年版CSRサイトレポートを発行するにあたりご挨拶申し上げます。

平素は昭和電工（株）龍野事業所の事業活動に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

龍野事業所は1971年より関西の3工場が龍野に集約され操業を開始しました。永年蓄積してきた知見により成長分野である自動車・環境・電子材料向けなど合成樹脂製品の関西における生産拠点として、有用な製品の提供を通じて社会に貢献すべく活動しております。

当事業所は新幹線と山陽本線の沿線にあり、また周囲には豊かな自然と、瀬戸内海につながる揖保川が流れていることから、日頃より化学物質を安全に取り扱うことに留意し、かつ環境負荷を積極的に低減させるシステムとして2004年に「ISO14001」を取得し、省エネルギー・廃棄物削減・排水管理・環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。

また2019年からは、全員参加活動として2007年より続けてきたTPM活動を発展させ、事業所の独自活動として龍野三革新を活動の中心に据えました。個性派事業所となるべく「製造革新」「製品革新」「製造供給革新」の三革新をもって、龍野事業所の強みを活かしながら、事業強化活動を継続していきます。

更に安全と健康の確保が企業活動の基盤をなすものと考え、2014年1月に労働安全衛生マネジメントシステム「OHSAS18001」を取得し、継続的なリスク低減活動を展開中です。

今後とも社会的責任を全うし地域との共生により、継続的に地域貢献できる事業所になるため、日々活動を続けてまいり所存ですので、本レポートをお読み頂き、皆様からの率直なご意見、ご質問、ご指導を頂ければ幸いです。



昭和電工株式会社
龍野事業所長

下出 哲也

環境関連の取り組み

1) 使用電力の見える化

省エネルギー活動を推進するため、電力監視システムを導入しています。主要製造施設、ユーティリティの電力使用状況がリアルタイムで見える様になっており、各課の省エネルギー活動に役立っています。

事務所入り口にモニターを設置していますので、ご来場の際は是非ご覧下さい。

龍野事業所はこれからも省エネルギー活動を推進し、環境に優しい製品づくりに努めて参ります。



電力監視システムモニター

2) 省エネルギー活動

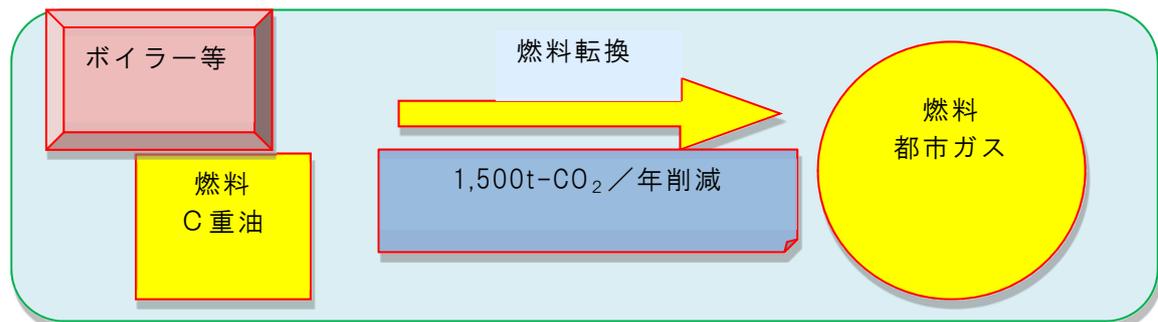
◆ボイラー等燃料装置の燃料転換

2015年から、ボイラー等燃焼装置の燃料をC重油から都市ガスへ転換することで、排ガスのクリーン化とボイラー効率向上による省エネルギー化を図っています。

これにより温暖化ガス排出量 1,500t-CO₂/年削減を達成しました。また、排ガス中のばい塵や酸性雨の原因となる硫酸化物の削減にも寄与しています。



ガス炊きボイラー



◆冷却水ポンプの更新

電力監視システムの活用により、電力使用量の解析をして、電力使用量の削減対策を推進しています。

長年使用している冷却水ポンプの更新に際し、高効率モーターを選定して、電力削減を図っています。

プラントの重要なユーティリティ設備でもある冷却水ポンプは、稼働時間も長く、省エネルギー効果が見込める機器で、1台あたり年間で約15千kWhの省エネルギーになります。



高効率モーターの冷却水ポンプ

◆照明のLED化、エアコンの更新

事業所内の水銀灯や蛍光灯などの照明やエアコンを、随時省エネルギータイプに更新しています。

事務所棟に引き続き、研修棟の照明をLEDに、エアコンを省エネルギータイプに更新しました。これにより、事務所の照明はすべてLEDに更新完了しました。引き続き、製造施設の照明のLED化（2018年でおよそ60%更新）を推進します。



LEDに更新した照明



省エネルギータイプに更新したエアコン室外機

◆アルミ缶リサイクル活動

アルミ缶リサイクルは、ゴミの削減だけではなく、省エネルギーにもつながる活動です。

使用済アルミ缶を再利用して地金をつくると、ボーキサイト（アルミの原料）から地金をつくるよりも、97%のエネルギーを削減できます。

昭和電工グループ全体で、アルミ缶のリサイクル活動を推進しています。龍野事業所でも積極的に本活動に参加し、ゴミの削減と共に省エネルギーにも貢献します。

（2018年アルミ缶回収実績：参加率93%
回収数38,878缶）



昭和電工グループの
アルミ缶リサイクル活動推進ポスター

3) 産業廃棄物削減

◆ゼロエミッション達成

龍野事業所では、産業廃棄物発生量に対する最終埋立処分量を1%未満にすること（ゼロエミッション）を目標とし、産業廃棄物の見直しを進めてきました。

2014年から新型脱水装置の導入により、産業廃棄物の汚泥の含水率を低く抑えたことで、リサイクル処理可能となりました。その結果、2015年より目標の埋立処分率1%未満（ゼロエミッション）を達成することができました。

2017年はガラスくずのリサイクル処理が可能な廃棄物処理業者に委託先を変更することで更なる埋立処分量の削減に取り組みました。

2018年には法令で処理期限が設定されているPCBの処理を完了させました。



◆リサイクル推進活動

事業所内の焼却炉で焼却処理をしていたプラスチック容器やビニール袋、シートなどは、2015年より事業所全体で分別回収を行い、その一部をリサイクル業者に有価売却しています。

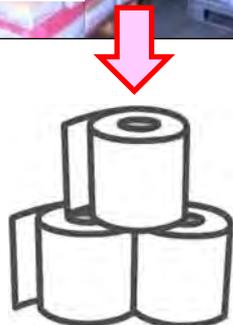
またそれ以外にも、紙類、ダンボールのリサイクルの推進、2016年から潤滑油の再利用（リユース）を開始し、更なる廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めています。

リサイクル用 ポリビン・ポリ容器類	リサイクル用 フィルム・袋類、 PP ハンド・PP 紐、PE サニート手袋類
<ul style="list-style-type: none"> ・容器の色は問わず、素材はPP、PE なら可。 ・蓋、中キャップも一緒に可。 ・ラベルやシール類は剥がさなくても可。 ・容器は必ず洗浄すること。 ・汚れ、樹脂が付着しているものは不可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色は問わず素材はPP、PE、PET なら可。 ・ラベルやシール類は剥がさなくても可。 ・袋・フィルムに印刷されているものも可。 ・但し、製造課で多量に発生するラップや袋類、PP ハンド類は、できるだけ同一袋にすること。 ・汚れ、樹脂が付着しているものは不可。

プラスチック類の分別ルール



紙類のリサイクル



回収された書類等は、トイレットペーパーにリサイクルされます。



潤滑油の再利用（リユース）



回収された潤滑油は、業者がゴミを焼却するための燃料として再利用（リユース）されます。

4) 環境に優しい製品づくり

龍野事業所は「環境に優しい製品づくり」を念頭に、日々仕事に取り組んでいます。

長年蓄積してきた広範囲な独自技術により、様々な分野における製品を開発・製造しています。



◆リチウムイオンバッテリー用接着剤

最近利用者が増加している電動アシスト自転車や電動バイク、電気自動車に使用されるバッテリー用の接着剤を開発しました。従来は人体や環境に有害な有機溶剤を用いた接着剤が主流でしたが、当事業所では「人や環境に優しい製品を創りたい」という信念のもと、有機溶剤を使わない水系の接着剤を開発しました。お客様での評価も良好で、実用化が進んでいます。



電動アシスト自転車



電気自動車



車載用バッテリー

◆水系ライニング材

上下水道処理施設の老朽化対策として、設備の更新ではなく、改修を行うケースが増えています。これまでの改修用材料は有機溶剤や有害物を含んでおり、工事作業員への毒性が懸念されていることから、当事業所では有機溶剤や有害物を使用しない優れた水系材料を開発しました。人だけでなく、環境にも優しいこの製品は日本全国の上下水道処理施設に使われ始めています。

ライニングとは？

コンクリートを腐食などから守るために被覆すること。この被覆材のことをライニング材と呼びます。

◆ ISO14001:2015年版での認定

龍野事業所では、環境マネジメントシステムの国際標準規格であるISO14001の認証を2004年に取得しました。そして、2018年の1月より、最新規格であるISO14001:2015での認証を受け、継続して環境保全に関する改善活動を行っています。



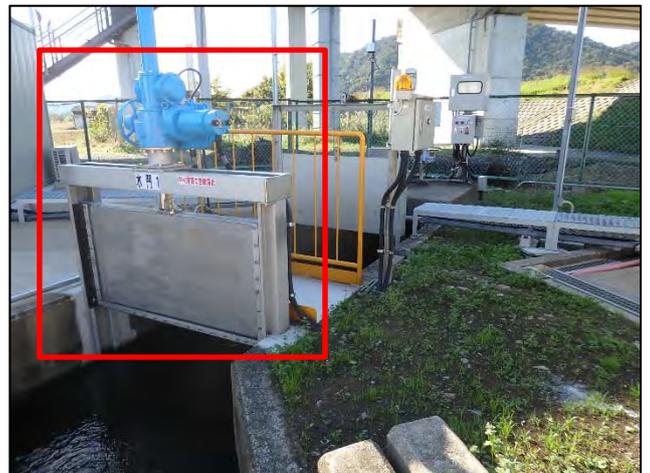
ISO14001 認証書

◆ 環境管理と監視機器

事業所周辺環境の保全対策として、異常を早期に検知し素早い対応がとれるように監視機器を設置しています。

事業所の排水には、雨水等の一般排水と製造に使用した工場排水があります。工場排水は、事業所内で凝集沈殿及び微生物分解により有害物を処理してから排出しています。

排水路は24時間体制で監視しており、通常と異なる数値が検出された場合には、直ちに水門が自動で閉まり、事業所外への有害物の排出を防止しています。



排水路の自動開閉式水門

大気へ放出される排ガスは、主にボイラー、焼却炉で燃料やゴミを燃焼させた時に出るガスです。最適な燃焼状態を保つように運転管理と定期的な排ガス測定を行い、環境負荷物質の監視に努めています。

また、事業所の臭気には細心の注意を払っており、発生源の特定と対策を推進するため、敷地境界付近の6箇所に臭気センサーを設置して24時間体制で監視し、臭気異常を感知できるようにしています。



臭気センサー

◆監視機器の更新と緊急退避槽等の設置

2018年は、水質関連の環境監視機器の一つである全窒素・全りん自動測定装置（以下、TNTP計）の更新を行いました。その際、測定結果に対する直射日光や外気温、風雨等の影響を避けるために、専用の小屋を設置し、常に正確なデータを取得できる測定環境を整えました。

小屋内には緊急時に使用する備品も取り揃え、万一の際に迅速な対応が行えるようにしています。

事業所の一般排水は通常、雨水や間接冷却水等のきれいな水ですが、万一汚染された水が流出しても適切に貯留できるように緊急退避槽を整備しました。

これにより、通常時の排水量で約3～4時間分の排水を貯留することができるようになりました。

引き続き、事業所の周辺環境に配慮した取り組みを積極的かつ継続的に進めていきます。



環境監視機器用の小屋



新規水路

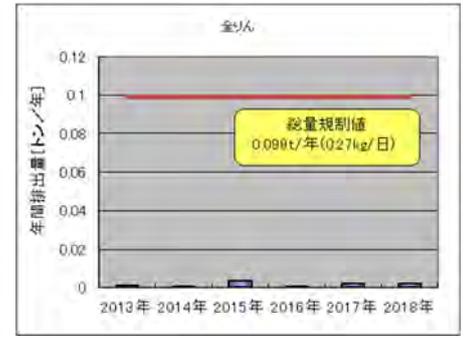
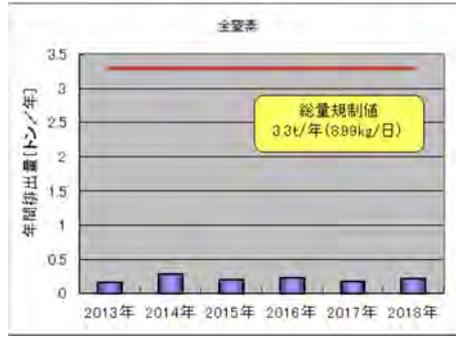
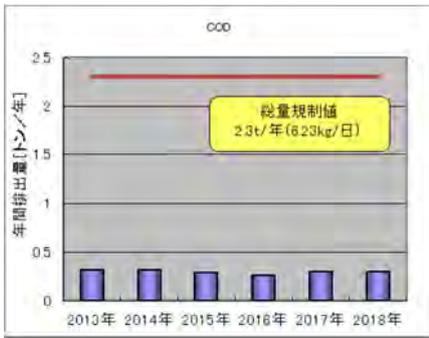


緊急退避槽

◆環境負荷の概要（2018年）



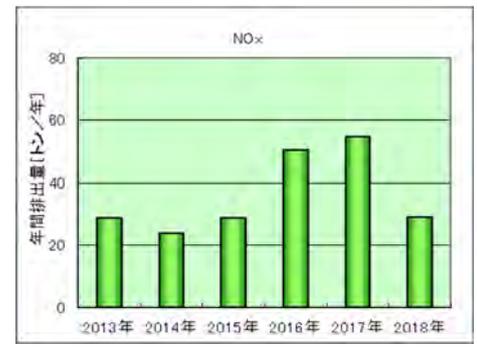
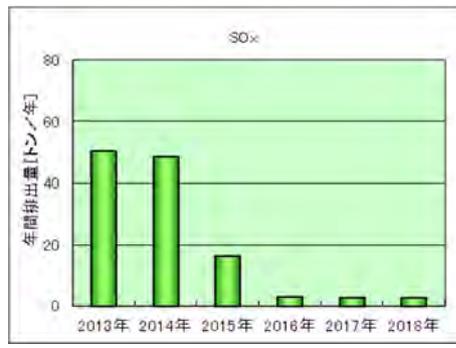
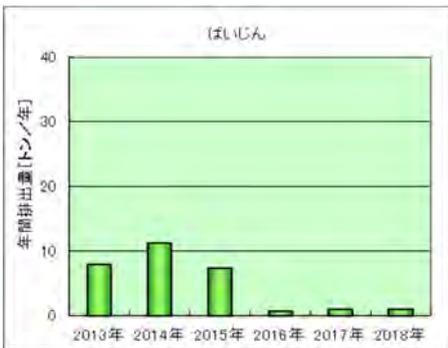
◆水質関係（2018年1月～12月）



CODとは「化学的酸素要求量」のことであり、水中の有機物を化学的に分解した際に消費される酸素の量で表され、数字が高いほど有機物が多く、汚濁が進んでいることを示します。

窒素、りんは、植物性プランクトンの栄養源であり、赤潮の原因物質とされています。いずれの項目も排水中の濃度を24時間連続測定にて監視しており、総量規制値より大幅に低い値で推移しています。

◆大気関係（2018年1月～12月）



ばいじんは燃焼の際に発生・飛散する微細な物質です。SO_xとは硫黄酸化物のことで、燃料中の硫黄分が発生源となります。NO_xとは窒素酸化物のことで、光化学オキシダントの原因物質とも言われ、燃料の燃焼などにより発生します。いずれも呼吸器系への健康被害を起こす可能性がある物質で、排ガス中の濃度に対する規制があります。適切な燃焼状態の管理と定期的な濃度測定を行い、規制値を遵守しています。

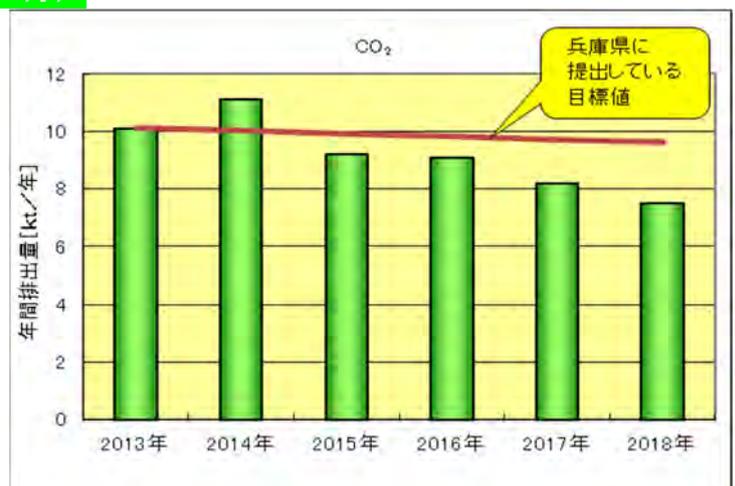
2015年にボイラー等の燃料転換（C重油から都市ガスへ）を行い、ばいじんとSO_xの総量は年々低減していますが、2016年より自家発電設備（コジェネボイラー設備）の有効活用を行ったため、NO_xが増加しました。

今後、設備の有効活用をしつつ、NO_xの削減に努めていきます。

◆地球温暖化防止対策（2018年4月～2019年3月）

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（CO₂）排出抑制に取り組んでいます。2015年にボイラー設備等の燃料転換（C重油から都市ガスへ転換）によりおよそ1.5kt-CO₂/年削減しただけでなく、その他の省エネルギー施策も寄与しCO₂を大幅に削減することができました。さらに省エネ効果の高いLED照明やエアコンの採用により地球温暖化防止対策を推進しています。

*：電力の排出係数を0.358（基準年）に固定して算出



保安防災・安全衛生活動

1) 保安防災訓練

龍野事業所では、万一の災害に備えて消防訓練、防災訓練を実施しています。

◆消防訓練

2018年12月にアミノ工場で原料仕込み中に火災が発生した想定で消防訓練を実施しました。

火災の状況、消火活動の状況、保有危険物、負傷者の有無などの情報を公設消防に伝達する訓練や、延焼防止を目的とした放水訓練を実施しました。

前回訓練の反省（自衛消防隊員の人員把握や消火活動の状況把握に時間が掛かりすぎ）を受けて、各隊に伝令担当者を設定したり、各隊との無線チャンネル番号を設定したりすることで、人員把握や状況確認をスムーズに行うことができました。



公設消防への状況説明の様子（伝達訓練）



放水訓練の様子

◆防災訓練

2018年7月に「南海沖を震源とした震度6強(たつの市の震度で5強)の地震」を想定した防災訓練を実施しました。新しく導入した「緊急地震速報システム」を訓練地震想定時刻に発報させ、その合図で訓練を開始しました。

非常対策本部を設置し、各部署の人員把握と設備異常の有無について集約しました。今後は更に、地震の二次災害（漏えい火災発生）を想定した訓練も実施し、事業所の保安力向上に努めていきます。



緊急地震速報システム



各部署での人員把握の様子

2) 危険体感教育

龍野事業所では、作業や設備の危険（怖さ）体感教育を行い、安全意識向上や安全活動の活性化に努めています。活動を幾つかご紹介します。

昨年度は、各製造課が教育テーマを決め、教育機材や資料を準備し、事業所内に展開しました。

◆粉塵爆発

粉塵爆発が起こる原理を解説し、粉塵爆発を起こす実験機器で、どのように爆発するのかを体感しました。

◆高圧洗浄機の威力

高圧洗浄機（水を勢いよく噴出できる機器で、機器や容器の洗浄に使用しています。）からの噴出水を肉片や木材、作業服に当てて、どれ程のダメージを受けるかを観察しました。

◆カッターの危険性

製品を切断する機器に、木の棒に刺したウィンナーを指に見立て、切断の衝撃や怖さを体感してもらいました。



粉塵爆発体感の様子



高圧洗浄機による切傷リスク体感教育



カッター装置による切断体感の教育

切断された「棒付きウィンナー」↑

3) 労働衛生、健康管理活動

◆熱中症対策

近年の温暖化の影響により熱中症対策は重要な案件となっております。

当事業所では、各製造課の作業エリアに WBGT 温湿度計の設置、個々人の体調確認、休憩時間の管理、水分塩分補給、塩タブレット配布、毎朝の注意喚起メール配信、注意喚起のぼり旗の設置を実施することで、熱中症予防に努めています。



WBGT 温湿度計



注意喚起ののぼり旗

◆健康管理セミナー

従業員の健康維持の活動の一環として、2019年6月に管理栄養士の方をお招きし、食の健康セミナーを開催しました。テーマは、健康づくり、食生活、生活習慣病予防で、16名が出席しました。

特に印象に残ったことは、一日に摂取する理想的な食事内容を回転するコマをたとえに、「食事内容が悪いとバランスを崩しコマは倒れてしまう。」と説明いただいたことです。日常食べている食事内容とそのバランスが重要であることを改めて学ぶことができました。



セミナーの様子

4) 表彰

◆安全スローガン表彰

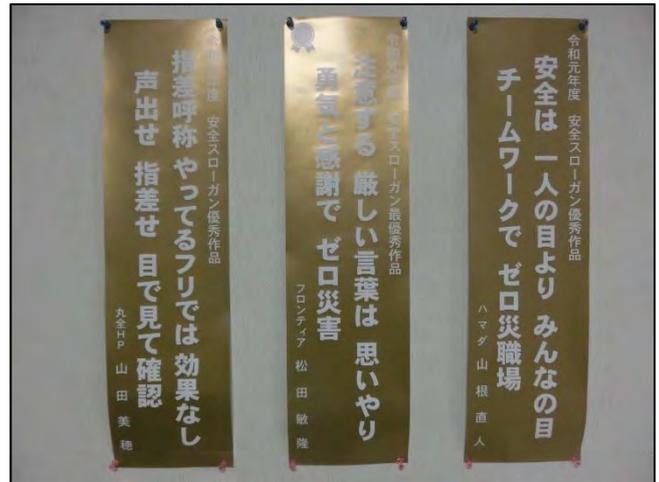
一人ひとりが安全について考えるきっかけとなるように、安全スローガンの表彰をしています。今年之最優秀作品は、

「 注意する厳しい言葉は思いやり 勇気と感謝でゼロ災害 」です。

スローガン上位3作品はいつでも目に留まる様に各職場や会議室等に掲示し、作業前の自分自身への問いかけに活用しています。



表彰の様子



上位3作品の掲示

5) 認定

◆OHSAS18001 認証

当事業所では、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS18001）の認証を取得しており、毎年行われる外部審査を受審し、認定を維持しています。

引き続き、このシステムを活用し、労働災害防止活動を推進していきます。



OHSAS18001 認定書

地域社会とのコミュニケーション

1) 事業所内行事

◆事業所見学会（近隣自治会）

2019年7月、近隣の住民（3自治会17名）の方々をお招きして、事業所見学会を実施しました。

龍野事業所で製造している製品を知っていただくために、開発部のメンバーによる各製品の用途説明を行いました。

「我々の身近な物を作ってくれていますね！！」といった感想もあり、龍野事業所の製品をよくご理解いただくことができました。

また工場見学では事業所の自家発電設備、排水設備、環境監視装置などの見学を行いました。環境対応への取り組みをご理解いただくと共に、事業所の美化活動についても良い感想をいただきました。

見学会を通じ、近隣自治会の方々とは有意義な意見交換ができました。これからも事業所見学会やその他の活動を通じて、近隣の方々との交流・地域社会への貢献に努めていきます。



製品紹介



工場見学

◆納涼祭

2019年8月、国民宿舎赤とんぼ荘にて、龍野地区として初めて納涼祭を開催しました。

当日は従業員とご家族151名、ご来賓12名、協力企業63名と、総勢226名の方々にご参加いただきました。

軽快な司会のもと、『スイカバー早食い競争』、『ストレートアームチャレンジ』、『ビンゴゲーム』などの余興を行い、会場は大いに盛り上がりました。また、外のテラスではお子様向けの余興として、スーパーボールとヨーヨーすくいを行い、こちらも大盛況となりました。

今後も工夫を凝らした納涼祭を継続して実施し、龍野地区で働く人とご家族に信頼され、身近に感じていただける事業所を目指してまいります。

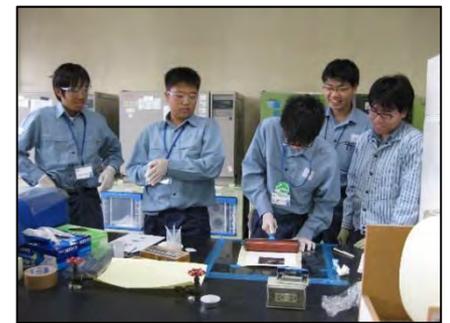


納涼祭の一幕

◆トライやるウィーク

2018年11月、中学生の就業体験活動「トライやるウィーク」の一環として、龍野西中学校の2年生5名に龍野事業所の職場体験をしていただきました。職場ではシール作り体験やPC体験など、実際の業務に沿った課題に取り組みました。

一週間、各職場での体験を通じて普段とは違う『仕事』の楽しさ・大変さを感じたようです。今後も地域の将来を担う中学生の体験・成長する場の提供を継続していきます。



シール作り体験

◆高専生インターンシップ受入

2019年9月、神戸市立工業高等専門学校 応用化学科から1名のインターンシップを受け入れました。5日間の期間中、エマルジョンの重合の見学や、BMCのテストピース作成など、実際の業務に近い体験をしていただきました。

インターンシップ生からは「お客様がどういった状況で使う物質なのか考えて開発することや、他部署と連携しながら仕事を進めることの重要性を学べた」等の感想があり、学校ではなかなか得られない多くの気づきが得られていたようでした。

今回の実習で得た経験が、今後の学生生活や就職活動で役に立つことを願っています。

2) チャリティ・ボランティア活動

◆ゴミ拾いボランティア活動

2019年4月、たつの市が主催する「三世代ふれあい全市一斉清掃活動」に先立ち、周辺地区の清掃ボランティア活動を初めて行いました。当日は37名のボランティアが集まり、事業所周辺や普段通勤で利用する道沿いのゴミ拾いを行いました。

拾ったゴミの総重量は34kgに及び、参加者からも「意外とゴミが多くてビックリした」など驚きの声が上がりました。

社会貢献、そして地域の美化のため、今後もこのような活動を積極的に行ってまいります。



ゴミ拾いボランティア活動

◆マラソン大会協賛・運営ボランティア協力

2019年1月、第47回たつの市梅と潮の香マラソン大会に協賛し、運営ボランティアに初めて参加いたしました。ボランティアは早朝から参加証交換係として、大会特製Tシャツ等の記念品を参加者に手渡しました。

龍野地区では珍しく、積雪も見られるような厳しいコンディションでしたが、下出事業所長をはじめ7名の従業員が、ランナーとして無事に完走しました。

今後も、健康増進とランナー懇親の場として、継続して大会へ参加してまいります。またイベントへの協賛を通じて、昭和電工をより多くの方に知っていただき、地域から信頼される事業所になれるよう努めてまいります。



大会後の記念撮影

◆社会福祉協議会への車いす寄贈

2019年1月、アルミ缶リサイクル活動で集まった寄付金で車いす2台を購入し、たつの市社会福祉協議会へ初めて寄贈しました。

今回寄贈した車いすは、同協議会が実施している車いすの貸し出し事業のために役立てられるとのことでした。

来年以降も継続的にアルミ缶リサイクル活動の寄付金で車いすを寄贈する予定です。今後も本活動を推進し、地域社会へ貢献してまいります。



車いす2台寄贈

3) その他

◆たつの市長へのご挨拶

2019年1月、下出事業所長がたつの市役所を訪問し、山本市長へご挨拶すると共に、龍野の地場産業の動静や、市内に位置する企業の雇用情勢に関する情報交換を行いました。その際、地元の企業としては有数の存在感を持つ、当社龍野事業所の地域貢献に対して期待の言葉をいただきました。

今後も地域の皆様に当社への理解を深めていただきながら、共に発展できるよう努めて参ります。

◆事業所周辺清掃活動

毎年6月初めの田植え前に、事業所周辺の草刈りと水路の掃除を全従業員で実施しています。草刈り清掃作業当日は、晴天に恵まれ作業は順調でしたが、気温が高かったため、水分補給と十分な休憩確保に留意して作業を行いました。予定通り事業所周辺をきれいにすることができました。

今後もこのような清掃活動を継続していきます。

龍野事業所三行五訓

三 行

一、礼 儀	挨拶は人の心、規律は社会の心、大切にしよう我々の心
一、協 調	全員協調、労使協調で固めよう企業と生活の確かな基盤
一、努 力	努力、努力、努力、努力の他に何ものもない、それが人生

五 訓

一、安 全	お互に注意と点検をし合って、安全を心掛けよう、みんなの幸福
一、品 質	良い品質を作り、お客様に喜ばれよう、そして常に半歩前進
一、コ ス ト	コスト低減へ、創意と工夫を働かせよう、それが仕事
一、管 理	感覚だけに頼らずに、データとルールでやろう、仕事の管理
一、学 習	教わろう教えよう、相互啓発、それで全員レベルアップ

発行年月 2019年11月

《本レポートに関するお問い合わせ先・発行元》
昭和電工株式会社 龍野事業所 総務グループ
〒679-4155

兵庫県たつの市揖保町揖保中 251-1

T e l : 0791-67-1111

F a x : 0791-67-0655

[表紙写真 龍野事業所の航空写真]